



# 徳川美術館 名品コレクション展示室

令和7年1月4日(土)～3月23日(日)

展示期間 A:1/4(土)～1/28(火) B:1/29(水)～2/26(水) C:2/27(木)～3/23(日)

凡例：○は重要美術品を示します。

## 大名の雅び — 奥道具 —

大名自身やその夫人・子ども達の私的な生活の場「奥」で、身の回りを飾ったり、使用した道具、また教養を高めたり、趣味や遊びに用いた道具を奥道具という。大名の華やかな生活をしのばせる豪華な蒔絵の調度品は、婚礼の際の入奥道具に多い。その種類は、香道具・化粧道具・文房具・飲食器、旅道中具・遊戯具・楽器など多岐にわたる。

王朝文化の伝統をひく貝合せや聞香は、単なる遊びではなく、武家の婦人に欠かせない教養だった。楽器の演奏も、たしなみの一つである。古くから宝物視されていた古筆や古画はもとより、江戸時代の狩野派・土佐派の作品や、浮世絵なども愛好されていた。

No. 指定名	称	作者・所用者・所蔵者・寄贈者など	時代	世紀	期間
1 ○	十二ヶ月図屏風 六曲一双	田中訥言筆 岡谷家寄贈	江戸	19	A
2 ○	巖島・松島図屏風 六曲一双	土佐光起筆	江戸	17	B
3	唐詩屏風 六曲一双	池大雅筆 岡谷家寄贈	江戸	18	C
4	尚齒会詩 残巻	伝三条公忠筆	鎌倉	13-14	A
5	源氏物語抜書 早蕨	尊円法親王筆	南北朝	14	A
6	文正草子絵巻 上巻	俊恭院福君(尾張家11代齊温継室)所用	江戸	17	B
7	和漢八景図絵巻 二巻	狩野洞白(愛信)筆 淑姫(11代将軍徳川家斉長女)所用 個人蔵	江戸	19	C
8	菊折枝蒔絵香炉箱	俊恭院福君(尾張家11代齊温継室)所用	江戸	19	A
9	染付磁器入花蝶蒔絵菓子簞笥	徳川良子(尾張家18代義礼夫人)所用 齊藤芳克氏寄贈	江戸—明治	19	B C
10	住吉物語絵巻 二巻の内 上巻	個人蔵	室町	16	A
11	藤袋草子絵巻 二巻の内 下巻	個人蔵	江戸	17	A
12	梅鉢文散蒔絵櫛箱		江戸	17	B C
13	梅鉢唐草蒔絵角赤手箱		江戸	17	B C
14	桜鉄線唐草蒔絵提重	齊藤芳克氏寄贈	江戸	18-19	B C
15	松竹梅山水蒔絵香棚		江戸	19	B C

### 【婚礼調度】

奥道具の代表は、大名家に嫁いだ姫君たちが持参した婚礼調度である。婚礼は武家にとって政治力や財力、家の格式を象徴する、最も華やかで重大な儀式であった。婚礼の際は、身の回りで用いられる調度類一式が、統一された意匠のもとに用意された。豪華な蒔絵の調度品（香道具・化粧道具・文房具・飲食器・遊戯具・楽器など）をはじめ、絵画や書籍といった品々も武家女性の教養やたしなみに必須であり、その種類は多岐にわたる。